

【岩手県知事メッセージ】

平成 22 年 10 月 14 日

財団法人 日本ユニセフ協会 会長 赤松良子様

岩手県知事 達増 拓也

ユニセフ・キャラバンの皆様の岩手県への御訪問を心から歓迎いたします。

私たちが住むこの地球上には、貧困や栄養失調、病気などに苦しんだり、紛争や虐待などの危機にさらされたりと、厳しい状況の中で暮らしている子どもたちが数多くいます。日本ユニセフ協会の皆様におかれましては、未来を担う世界の子どもたちの命を守り、健やかに育つ環境づくりを目指し、様々な活動を展開されておりますことに対し、深く敬意を表します。

本県におきましても、これからの岩手を実現していくための羅針盤として作成した「いわて県民計画」において、「地球規模で考えながら、地域に根ざして活動できる『ひと』をはぐくんでいく」ことを目指しています。そのたあにも、世界の平和、国際親善に努める態度などを育成する教育をさらに充実させていきたいと考えております。

今回、皆様から、研修会や学校訪問において、様々な世界の子どもたちの状況やそれに対するユニセフの活動を紹介していただけることは、岩手の子どもたちが、同じ地球上に生きる同世代の子どもたちの厳しい状況を理解し、自分たちにできることは何かを考え行動するきっかけとなるのではないかと考え、誠に意義深いこととらえております。

世界中の子どもたちの幸せと健やかな成長に向けて、ユニセフの活動が今後ますます発展・充実されますことを、心からお祈りいたします。

【日本ユニセフ協会からのメッセージ】

平成 22 年 10 月 14 日

岩手県知事 達増拓也様

財団法人日本ユニセフ協会
(ユニセフ日本委員会)
会長 赤松 良子

この度は、ユニセフ・キャラバンを受け入れていただきましたことを、深く感謝申し上げます。

現在、世界では栄養不良や予防可能な病気のために年間 810 万人の幼い命が失われています。また、児童労働に従事させられる子どもたちも 1 億 2 千万人もいます。そして年間 5 千百万人ほどの子どもが出生登録をされていません。これは生まれた子どもの 38%にもなります。

これらの子どもたちが基本的権利を守られ、より良い環境で暮らすためには深い理解と協力の精神が求められます。財団法人日本ユニセフ協会では、このユニセフ・キャラバン・キャンペーンで全国を訪問し、未来の担い手である子どもたちに、地球的な視野で世界の問題を考えて行動することの大切さを訴えています。

なにとぞ、世界の子どもたちのためのユニセフ事業に対し、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。